

お知らせ

男女共同参画社会 10周年 基本法制定

昨年は、女性も男性も責任を分かち合い、その個性と能力をじゅうぶんに発揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指す目的に、男女共同参画社会基本法が制定されてから10年目の節目を迎えました。

この10年間で、従来の男性中心の社会から女性も活躍できる社会へと徐々に改善されているようですが、すべての分野において女性の参画が進んでいるとは言えず、さらに推進する必要があります。蓮田市でも、男女共同参画週間（毎年6月23日から29日まで）での普及啓発や事業の実施や、「はすだ男女共生プラン2015」に基づく各種事業に取り組んでいきます。

※女性人材リスト登録者募集※

蓮田市では、市政や地域の発展に積極的に参加していただける女性を募集しています。応募していただいたかたは、「蓮田市女性人材リスト」に登録させていただき、市の審議会や委員会等の委員等を選出するときの資料として活用させていただきます。

問合せ 総務課人権担当
☎768-3111 (内線296)

ばすてる

キラッと 生きる

ビデオテープ貸出し

個人・団体に貸出しています。

- ならんで一緒に歩きたい
男女共同参画社会づくりに向けて 16分
- 21世紀はみんなが主役
男女共同参画社会基本法のあらまし 23分
- 地域こそ子育てを！
薬丸裕英が聞く樋口先生の育児支援ガイド 28分
- ドメスティック・バイオレンス
家庭内における女性と子どもへの影響 25分
- ドメスティック・バイオレンス
どうして私を殴るのですか
～妻や恋人への暴力は犯罪です～ 25分
- 根絶！夫からの暴力'04
あなたは悩んでいませんか？ 30分
- 広がる未来！私が選ぶ
チャレンジする女性たち 29分

問合せ 総務課人権担当 ☎768-3111 (内線296)

ご意見をお寄せください

「ばすてる」では、皆様からのご意見を募集しています。今後載せてもらいたい内容、今回の内容に対するご意見・ご感想などをお寄せください。また、男女共同参画全般に関するご意見もお待ちしております。

問合せ・あて先

〒349-0193 (住所不要)
蓮田市役所総務部総務課人権担当
☎768-3111 (内線296)

編集員紹介



大野 栄子 木村紀由美 佐々木伸子
澤田 喜子 大門 龍博 和田 文夫
(50音順)

編集後記

サロンから聞こえる楽しい笑い声、舌赤に響く、懐かしい歌声とハーモニイ、アト塾で創作活動を終えての充実した話らいなど、取材を通して、皆さんがとても明るいきいきとシニアライフを過ごされているのが、とても印象的でした。また、公証人の仕事をわかりやすく解説していただき、その複雑さやたいせつさを改めて再認識させられました。男女がともに充実したシニアライフを送るには、男女がお互いを尊重し、家に引きこもらず、何事にも興味を持って行動することがたいせつだと実感しました。

女性のチャレンジの取材では、障がい児(者)への音楽の指導、手作りグッズの創作、宅配とともに笑顔と思いを届けるドライパー、3人のかたそれぞれがともキラキラと輝いている姿に深く心を打たれました。これからは蓮田市の希望の星としてキラッと輝いてほしいと、エールを送りたい気持ちになりました。

「ばすてる」とは？

子どものころから女はピンク、男はブルーと従来の固定観念にとらわれてしまっていることが多いようです。男女が性別にこだわらず自由に好きな色が選べ、柔軟な発想ができることを理想としていきたいと願い、やわらかい中間色という意の「ばすてる」としました。



蓮田市男女共生情報誌
第11号、2010.2



素敵な仲間たちとキラッと笑顔！

シニアにとっての男女共生

～あなたも「いきいきシニアライフ」考えてみませんか？～

いきいきサロンひらのをレポート！

手作りで歌の本をつくり、歌声喫茶のようにみんなで歌っています。この日は健康サロンで健康増進課の看護師さんに来ていただき、血圧・尿検査をしました。いきいきサロンの催しは、回覧板や直接声をかけてお知らせしています。また、必要なかたは車でのご送迎もしています。

★サロン誕生への道は？

平野団地は、蓮田市市の北部に位置し、約180世帯が住んでいます。現在は60代、70代のかたが多く住んでいますが、子どもたちや孫たちと同居しているかたも多くいます。

男性は会社勤めをしていたかたが多く、定年になり、今まで40年以上、団地に住んでいっしょに年月を送ってきたかたが閉じこもらないように、また、これからいつまでも元気で楽しく生活していけるように昨年4月にサロンを立ち上げました。

「サロンひらの」は平野団地に住んでいる皆さんが対象者です。全員で何をやりたいかを考え、全員で決めていろいろなことをやっていきます。

★サロンに集まった皆さんにインタビュー

サロンの中で楽しかったことは？

- みんなで歌を歌うこと
- お茶を飲みながら、お互いの近況が確認できること
- みんなで共感しあえること

サロンの活動で今後やりたいことは？

- 身体を動かす軽い体操
- 踊りをやりたいです
- いろいろなことをやってみたいです

理想のシニアライフの形はどのようなものと考えますか？

- あまり悩まないで明るい日々を送ること

シニアライフをいきいきと過ごすための秘訣はなんですか？

- グラウンドゴルフやウォーキングを継続し前を向いて進むこと
- ボランティア精神で人のために活動する

シニアライフにとっての男女共生についてどう考えますか？

- 男性、女性両方が参加しているので明るい雰囲気になり、気持ちが若返る



高齢化社会の進展により、高齢者がますます増える中で、市内で活動する団体や個人のかたを取材してみました。あなたも、地域活動やボランティア活動に参加してみませんか？



吾亦紅の合唱を楽しむ皆さんをレポート！

★活動の内容を教えてください

蓮田シニア生き生きクラブ(和田文夫会長)は、吾亦紅で5年前から入所者や通所者、ボランティアの皆さんといっしょにピアノ伴奏に合わせて文部省唱歌や懐かしい歌を歌っています。

歌と歌の合間には、子どものころのさまざまな話を聞きながら、次の歌を待っているときもなんと楽しいひとときになっています。

しかし、よく話をするかたばかりではなく、なかなか話のきっかけをつかむのが難しいかたもいます。ピアノの先生は家族の協力を得て、できるだけ長く続けていきたいと話しています。



★参加者の声

カラオケもやってみたい

大きな声を出すことは健康に良い

童謡、民謡、文部省唱歌をみんなでいっしょに歌うのはとても楽しい

笑顔で年を忘れる

日ごろからくよくよしない



指導者へのインタビュー

たの ちの ぐんよ ゆき 由紀さん (ピアノ伴奏者)

Q いつごろから、始めたのでしょうか？

A 5年前からです。

Q 活動を始めたきっかけは？

A 和田さんからの紹介で始めました。

Q 活動から得るものは？

A 参加される皆さんが喜ばれることが私にとっても大きな喜びとなります。

Q 今後の活動の抱負は？

A レポートリーをもっと広げて続けていきたいです。

Q 元気の秘訣を教えてください。

A 音楽に親しんでいくことですね。

Q 男女共生について、どのように考えていらっしゃいますか？

A 男性女性を区別しないで得意なことを得意な方がやれば良いと思います。能力とか得手不得手で男女が分担して、男性女性の特性を生かし、得意な分野を担うことだと思います。



いきいきアート塾講座を突撃レポート!

今回のいきいきアート塾では、シニア世代の男女を対象にアートセラピー(芸術療法ともいう)を学ぶものでした。

そもそも、アートセラピーとは、1996年に金子健二氏(臨床美術創始者)によって、臨床美術として創設されたものです。これは、絵という創作活動を楽しみ、五感を刺激することにより、右脳から脳全体を活性化させます。

臨床実験によりその効果が確かめられ、特に初期認知症の予防、改善効果が医学的に確認されています。



★期待される効果は?

- ① 認知症の予防、改善に役立ちます
- ② 参加者同士のコミュニケーションが高まり、生きる意欲がわいてきます
- ③ 活動が楽しくなります
- ④ 作品は、その人ならではのオリジナリティであり、上手下手はありません



★蓮田市で行われたきっかけは?

平成17年、蓮田市が准臨床美術士養成講座を開催しました。この講座で准臨床美術士の資格を得たかたを中心として蓮田やすらぎ会(笠井石夫会長)が発足しました。より豊かな市民の健康増進と臨床美術の普及を図るために、平成18年4月から「いきいきアート塾」を始めました。

今日までに36回開催、受講者延べ766人です。

会長は「埼玉県内でもたいへん珍しい活動なので、これからも継続していきたい」と言っていました。

★参加者に感想を聞いてみました

- 描き方は上手下手がなく、どんな作品ができるのか、自分でも出来るまでわかりません。頭の中がとても楽しくなります
- 意欲が出てきて健康になりました
- 仲間といっしょに創作することで、コミュニケーションができて楽しいです
- 感性で描き、きまりがないので自由な気持ちになれます
- 認知症防止のために良いと聞き、気軽に参加できるので、魅力を感じました

★男女がともにいきいきとできるシニアライフに必要なものは何でしょうか?

- 友達、仲間をつくる
- お互いに理解すること
- 家にこもらず興味をもったことに参加する
- 男性も女性の仕事、女性も男性の仕事ができるようになれば良いと思う



キラッと仕事人!

公証人という仕事

あおき かんじ
青木 幹治さん

[浦和公証センター(公証役場) 公証人]



1 公証人のお仕事を簡単に教えてください。

公証人は、裁判官・検察官・弁護士を多年勤務した人などから選ばれます。法務大臣の任命です。遺言や離婚、金銭消費貸借、土地・建物賃貸借の契約の公正証書を作り、また、会社定款を認証したりします。公正証書は、極めて強い証拠力や判決に代わって財産を差し押さえる効力などがあります。

2 日ごろ、仕事において配慮されていることはありますか?

相談に見えるかたは思いがいつまっまっているので、できる限りに話を傾けています。思いのたけを聞いて、遺言の作成であれば、その趣旨や思いを書き記すように努力しています。

3 仕事上で、喜ばれたことや苦労されたことなどエピソードはありますか?

「よく話を聞いてもらった」「自分の意図していたものは、まさにこのとおりです」といわれた時ですね。

お金の貸し借りの公正証書の作成を依頼してきたお客さんの中で、提出した資料に不当な内容がうかがえ、こちらからの質問にもじゅうぶん答えずに公正証書をつくれと強く言われたかたがいましたが、そのときは作成をきっぱり断りました。

4 公証人として市民へ何かアピールすることはありますか?

公正証書にしておくと、後に紛糾する問題を残さないようにできますね。公正証書の作成を考えている場合、無料で相談にのっていますのでどうぞ気軽に相談に来てください。

5 何かボランティア活動をされていますか?

WSC(ワーカーズサポートクラブ)で毎月第3月曜日、夜7:00から、勤労青少年ホームで定例会をやっています。ここには予約なしでも相談に来ていただいて結構です。また、WSCでは、さくら祭り、秋のフェスタ(講演会)も行っています。

*WSCは、蓮田市在住の社会保険労務士、行政書士、税理士、公証人が集まって市民の年金、法律、税務、その他について無料で相談にのっています。

6 成年後見人制度について教えてください。

関係機関が活発に広報活動をしています。公証人が関与するのは、公正証書での作成を要する任意後見契約です。これは、本人が認知症など、判断能力が低下したときに備え、本人が選んだ財産管理や医療契約・施設への入所などの事柄をあらかじめ頼む契約です。新しい制度を知るためには、本人が問い合わせることが大事です。

7 家庭での男女の役割分担についてどう思われますか?

前職のときは毎日帰りが遅く、土日もほとんど仕事でしたが、子どもには父親としての役割をじゅうぶんに果たすよう努力をしました。現在は時間的余裕もあるので、積極的に家事に協力しています。互いに尊重し合うことが大事ですね。

8 今後の夢、抱負などありましたら教えてください。

30年間、検事として悪に対峙してきましたが、社会はもっと複雑です。相談に対しより良いアドバイスができるよう、社会の実情に努めるなど、自分の力を高めていきたいと思っています。

女性のチャレンジから見える 男女共生とは？

見つけた！
キラッと輝いている女性

市内で障がい児(者)のための音楽教室を主宰・指導している声楽家、子どもの笑顔が好きで根付けなどのグッズを子どもたちに贈る女性、荷物の配達にまごころをこめる女性ドライバーのかたがたに、始められたきっかけ、喜びや苦労話などをお聞きしました。



30年前から今日まで障がい児(者)に、音楽の楽しさ、すばらしさを指導されています。

そんな諸貴さんの素顔に迫ってみました。

Q 始められたきっかけは？

A 30年前に自閉症児を連れてきたお母さんが「ハンディのある子どもにとって音楽がとても良いと聞いたので」と音楽教室にやって来たことです。

現在、中央公民館で障がい児(者)音楽教室「つくしんぼ」として活動をしています。

Q レッスンの内容はどのようなものですか？

A 障がいも年齢も違う子どもたちなので、一人ひとりの個性に合わせてのレッスンです。

公民館でのグループレッスンは、ピアノに合わせて歩いたり、走ったりして体で音楽を感じることや、歌うこと、また、いろいろな楽器を使って、リズム遊びをしています。

アンサンブルが苦手な子どもたちですので、トーンチャイムやジャンベ、マリンバなどでの合奏にも力を入れています。

繰り返し繰り返しの連続ですが、根気よく続けることで、確実にすばらしい成長をしています。

自宅では、ピアノや歌の個人レッスンもしています。

Q 子どもたちにとっての音楽とは？

A 音楽は、ハンディのあるなしにかかわらず、心を豊かにし、安らぎと感動を与えてくれます。

音楽の持つ特質によって、感性、協調性、集中力、反射・反応能力が養われます。音楽の力ってホントにすごいです。

Q メッセージをどうぞ。

A 「み～んな仲間*つくしんぼコンサート」をぜひ見に来てください。おおぜいの市民ボランティアのかたがたに支えられ、毎年3月に開催しています。

障がいのある人も、ない人も、いっしょになって音楽を通してお互いに喜びを分かちあう素敵なコンサートです。皆様の応援が何よりの励みです。一生懸命がんばる姿に、どうぞエールを送ってください。

音楽の力ってホントにすごいです。

諸貴 香恵子さん

ものづくりにチャレンジしていきたい。



大久保 包子さん

3年前から小学校、中学校の生徒の卒業式で、かわいい根付け、ブローチ、キュービー人形などのアイディアに富んだグッズを記念に贈るという活動をされています。材料費も個人持ち、すべて手作りして夜中の作業も惜みせずと作る姿はとても感動的であり、ボランティア精神にあふれています。

そんな大久保さんの素顔に迫ってみました。

Q 始められたきっかけは？

A 孫が小学6年生のとき、生徒全員(300人くらい)にイチゴの形をした根付けを卒業の記念として作ったのが始まりです。

Q 作ってこられて、良かったことは？

A いろいろな子どもとお母さんに知り合えて楽しい思い出がたくさんできたことです。忘れられないことは、ある子どもが交通事故に巻き込まれそうになったとき、交通安全祈願をした「イチゴの根付け」がお守りがわりになり、無事だったと言ってくれたことです。

Q 男女が仲良く暮らしていくには、どうしたらいいでしょうか？

A お互いに助け合い、支えあい、言いたいことは言い、ストレスをためないことが必要だと思います。

Q これからやりたいことを教えてください。

A ポケットティッシュ入れなど、実用的な物にもどんどん取り組んでいきたいです。まだまだ健康なので、さまざまなアイディアを生み出してものづくりにチャレンジしていきたいです。



仕事の達成感があるからとても楽しい。



市川 裕子さん

ヤマト運輸株連田中央センターでは、20人以上の男性ドライバーに交じり女性のドライバーが1人活躍されています。そのかたは市川裕子さん。6年間のアルバイト経験を経て、女性ドライバーとして働き始め今年で5年目になります。いつも感じが良く、笑顔をたややすががんばっています。そんな市川さんに仕事のこと、家庭のことについてお聞きしました。

Q お仕事について教えてください。

A 週5日、朝の8時から夕方4時まで、市内の担当地域を1人で配達しています。安全運転はもちろんのこと、女性のお客が多いので、身だしなみには非常に気を遣います。

Q どのような職場ですか？

A 職場はコミュニケーションが第一ですので、皆で助け合っ

て仕事をしています。女性だからといって特に不都合に感じることはありません。

Q 仕事をされてどんな事を感じていますか？

A この仕事にはお客様からの「ありがとう」の声があります。ご返事があり、達成感があるからとても楽しいです。ただ荷物を届けるのではなく、お客様の「思い」を届ける仕事だと感じます。

Q ご家庭のことをお聞かせください。

A 高校生と小学生の2人の子どもと私の3人家族です。家庭に戻ったら、育児に家事にと1人でこなし忙しい毎日です。

Q 最後にメッセージをお願いします。

A 末長くこの仕事を続けていきたいです。やりがいのある職場だから、もっと多くの女性に就いてもらいたい職業です。